



令和8年 二十歳の成人式

1月11日(日)、町健康福祉センターで「二十歳の成人式」が行われました。今年の対象者は144人で、式には104人が出席し、新たな門出をを迎えました。

会場では旧友や恩師との久しぶりの再会に笑顔があふれていました。



① 成人の宣誓を行う面川琴羽さん(左)と根本遥さん
② 成人証書を授与される室井龍昇さん
③ ピアノの伴奏をする斎藤悟さん
④ 謝辞を述べる角田一心
⑤ 司会を務める三瓶翼さん(左)と西牧咲耶さん



二十歳を迎えて一言 ■ INTERVIEW



あんどう
ゆう
さん



いしい
ゆうと
さん



さいた
あず
さん



つのだ
いっしん
さん



やまとざき
あさか
さん

無事に成人式を迎えることができてとても嬉しく思います。これまで支えて下さった方々への感謝の気持ちでいっぱいです。これまでの経験を踏まえ、自分自身と向き合い、本当にやりたいことを大切にしながら行動していきます。

無事に成人式を迎えることができ、今日まで支えて下さった皆様に深く感謝申し上げます。これまで支えてくれた家族や友人に心から感謝しています。

成年式を迎えることができ、とても嬉しく思います。これからは、周りの人との気持ちや状況にいち早く気づける、視野の広い大人になりたいと思います。

責任ある大人として自覚を持ち、1つ1つの経験を糧にしながら精進していきたいです。

成年式を迎えることができ、感謝の気持ちで一杯です。これからは、周囲の人との気持ちや状況にいち早く気づける、視野の広い大人になりたいと思います。これからも感謝の気持ちを忘れずに素敵な大人になれるよう努力し、成長していきます。

特集

受賞者インタビュー

男子第76回全国高校駅伝競走大会は12月21日(日)、たけびしだジアム京都(京都市)をスタート・ゴールに行われ、増子陽太選手が1区10kmを28分20秒の日本選手最高記録で走り切り、学法石川高校の初優勝に大きく貢献しました。また、増子選手は、1月18日(日)に広島市で開かれた第31回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会にも出場し、1区走者として19分8秒の区間新記録(区間2位)を打ち出す力強い走りを見せました。

——この度は、本当におめでとうございます。高校生活での大きな大会を終えられましたか。

増子選手 「全国高校駅伝は、3年間優勝を目指して仲間たちと切磋琢磨してきて、大会当日は、チーム皆が自分の持てる力を出して臨めたと思います。体調不良など辛い時期を過ぎていて、まさかここで結果が出せるとは、とう驚きもありました。今まで支えてくださったたくさんの方々のおかげもあり、良

第一回 増子陽太選手

日本選手最高記録更新



Profile

ましこ
ようた
選手

2007年8月生まれ
学法石川高校3年 陸上競技部所属



全国高校駅伝
初優勝へ導く圧巻の走り

——これまで出場した大会での競技中の自身の走りを振り返ってみて、自らの強みに思えてください。

増子選手 「やつぱり長距離が得意だと思っていて、距離が長ければ長いほど自身の力を発揮できると感じています。

——これまで出場した大会での競技中の自身の走りを振り返ってみて、自らの強みに思えてください。

増子選手 「早稲田大学に進学が決まっています。メンバーの一員として仲間と一緒に切磋琢磨してチームに貢献したいと思っています。中学生の頃から

——今後の進路や目標は何ですか。

増子選手 「町に帰ると、歩いているだけで多くの人が声をかけてくださり、とても感謝しています。全国高校駅伝のときも、自分が走る1区からしっかり中継などをみて応援



鳥見山から世界へ!

——応援している方々や、町に向けたメッセージをお願いします。

増子選手 「町に帰ると、歩いているだけで多くの人が声をかけてくださり、とても感謝しています。全国高校駅伝のときも、自分が走る1区からしっかり中継などをみて応援してくれていて本当に温かさを感じています。特に、鳥見山陸上競技場に行くと、コチ陣から力強い言葉をかけていただいたりして、励みになっています。町の皆さんとの待ちに応えるためにも、まずは来年箱根駅伝に出場して活躍したいと思います。これからも応援よろしくお願ひします。」